

北海道地方ダム等管理フォローアップ委員会（第48回）議事要旨

1. 日 時：令和5年12月21日（木）10時00分～15時00分
2. 場 所：北海道開発局研修センター 3階 第5教室
3. 出席者：黒木委員長、岡村委員、中井委員、根岸委員、松井委員、丸谷委員、山下委員
4. 議事要旨

岩尾内ダム・サンルダムの定期報告書（案）について説明を行った。

各委員からの主な意見は以下のとおりである。

●岩尾内ダム定期報告書（案）について

1) 堆砂について

- ・堆砂状況の整理においては、堆砂測量方法に変更があった場合はその旨が分かるよう表記することが望ましい。（サンルダムも同様）

2) 生物について

- ・ニジマスは、ダム湖内での確認数は少ないものの自然繁殖している可能性があることから、今後もモニタリングを継続していくことが望ましい。

3) 景観について

- ・ダム及びダム周辺で統一したサイン整備、景観配慮を実施・継続するため、サインシステムや景観デザインのガイドライン作成に向けた検討を行うことが望ましい。

●サンルダム定期報告書（案）について

1) 水質について

- ・夏と冬の成層期において底層のD0が低下する傾向が見られることから、今後も貯水池内中層・底層のD0の変化を注視することが望ましい。

2) 生物について

- ・サンルダムの魚道関連施設について、今後もモニタリング調査を継続し、その結果を踏まえて必要に応じた順応的対応を行うことが望ましい。

3) 景観について

- ・ダム完成後の実状を踏まえて「サンルダム景観ガイドライン」の更新に向けた検討を進めて欲しい。

○上記の意見を踏まえて岩尾内ダム・サンルダムの定期報告書を作成する。